

事務事業名		森林バイオマス推進事業補助金		所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
総 計 画 体 系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	林業グループ	課長名	杉原律雄
	施策名	〈37〉林業の振興		担当者名	加藤信也	電話番号	0854-40-1050 (内線) 2412
	目的 対 象	市内の森林	意 図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。			
	基本事業名	〈113〉森林資源の活用		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 5 2 業名	林業振興事業 森林バイオマス推進事業補助金	
目的 対 象	市内の森林	意 図	木材資源を活用する。				

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度～ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
■ 林地残材活用推進事業 市のバイオマスエネルギー事業用に出荷した木材の重量1トン当り3,000円以内を補助する。
■ 林業機械導入事業 市民参加型収集運搬システムの登録者(予定者含む)が林業機械を購入する経費の3分の1以内を補助する。 ただし、補助金上限20万円。
■ 薪ストーブ等導入事業 薪ストーブ等の購入する経費の3分の1以内を補助する。 ただし、補助金上限10万円。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)		30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		・事業周知 ・補助申請の審査 ・補助金決定 ・補助金支払い		・事業周知 ・補助申請の審査 ・補助金決定 ・補助金支払い			
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
	ア 交付申請数	件	7	12	7	7	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	市民、森林組合等	ア 市民	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ 森林組合等	団体	2	2	2	2
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	木材生産量を拡大する。	ア 市民参加型収集運搬量	t	1,224	1,172	1,180	1,500
イ 木材生産量		m ³	23,876	27,433	32,806	30,000	
ウ 森林組合等林地残材搬出量		t	273	1,453	1,513	1,500	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
■ 林地残材活用推進事業: 4件 補助金額: 4,500千円 ■ 林業機械導入事業: 2件 事業費: 617千円 補助金額: 367千円 (県補助金含む) ■ 薪ストーブ等導入事業: 1件 事業費: 540千円 補助金額: 133千円 (県補助金含む)	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	132	461	289	
		地方債	千円				
		その他	千円	1,065	1,217	211	500
		一般財源	千円		3,429	4,500	4,500
		事業費計 (A)	千円	1,197	5,107	5,000	5,000
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	188	188	100		
	人件費計 (B)	千円	736	746	408		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,933	5,853	5,408		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・バイオマス発電所稼働により、チップ原料となる林地残材の確保競争が激化し、取引価格も高騰している。 ・平成28年度から県が林地残材の集積装置導入にかかわる補助を新設。	バイオマス用チップ原木確保のため、平成28年10月から林地残材活用推進事業の補助単価を1,500円/トンから3,000円/トンに引き上げたことにより、森林組合からの木材出荷が促進された。	・市民参加型収集運搬システムの登録者グループから林地残材の集積装置(PCウインチ等)導入補助を活用したい意向を聞いている。

事務事業名	森林バイオマス推進事業補助金	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 補助率、補助対象とも適切に見直しを行いつつ実施している。		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 森林バイオマスエネルギー事業にかかわるチップ用原木の安定確保のためには、林地残材活用推進事業による補助が必要不可欠な現状。また、林業機械、薪ストーブ等導入補助についても、市民から継続要望が強い。		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 類似事業はない。		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 木質チップ利用施設増加にともなうチップ用原木の安定確保のためには、林地残材活用促進事業の事業費をより拡充する必要がある。		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 補助事業にかかわる審査、交付等の業務を適切に実施しており、これ以上の削減余地はない。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 市民、市内に本社及び営業所のある素材生産事業者を対象としており、受益機会等については公平である。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>これまで政策選択基金を充当して補助事業を実施してきた経過があるが、平成29年度から充当額が大きく減額されることとなった。林業機械導入及び薪ストーブ等導入にかかわる補助については、引き続き市民からの期待が寄せられている現状にあるため、補助上限を見直す(林業機械導入:20万円⇒10万円、薪ストーブ等導入:10万円⇒5万円)ことで平成30年度も事業継続することとしている。</p> <p>なお、林地残材活用促進事業については、平成29年度から一般財源を充当しているが、今後のチップ需要増加を踏まえたチップ用原木の安定確保のため、より事業費を拡充しつつ進める必要がある。</p>																								